

有機農業の産地化に向けて（有機れんこん）

【生産・加工・流通・消費】

- 木更津の原風景を取り戻すため、地元企業が農業生産法人を立ち上げ、蓮田の再生にチャレンジ！
- 2.1ヘクタールの有機認証圃場において、年間約3.6トンの有機れんこんを生産。種つけ後、定植が思うように進まなかったため、昨年、種つけしたものを今年収穫。
- これまで出荷していた地方卸売市場から、有機農産物を求める消費者に届け、その価値を高めるため、今期から大田市場への出荷を検討。
- また、昨年度は、「みどりの食料システム戦略緊急対策事業」を活用し、道の駅や市内飲食店とのコラボレーションのもと、新たな商品・新メニューを開発。



有機農業の産地化に向けて(有機パッションフルーツ)

【生産・加工・流通・消費】

- 12年前から木更津市で熱帯果樹のパッションフルーツ栽培に取り組む市内JBKファームが、有機栽培にチャレンジ。
- 0.9ヘクタールの有機認証圃場(ハウス)にて、年間約1.0トンの有機パッションフルーツを生産。
- ジャムやジュース、ドレッシングなど、外食産業を中心に需要の高い、パッションフルーツの高付加価値化に取り組み、価格は慣行栽培の2割増(1個あたり200円⇒240円)。
- 農業を次代にわたり守っていくため、水田を活かした有機里芋の生産にも挑戦中!



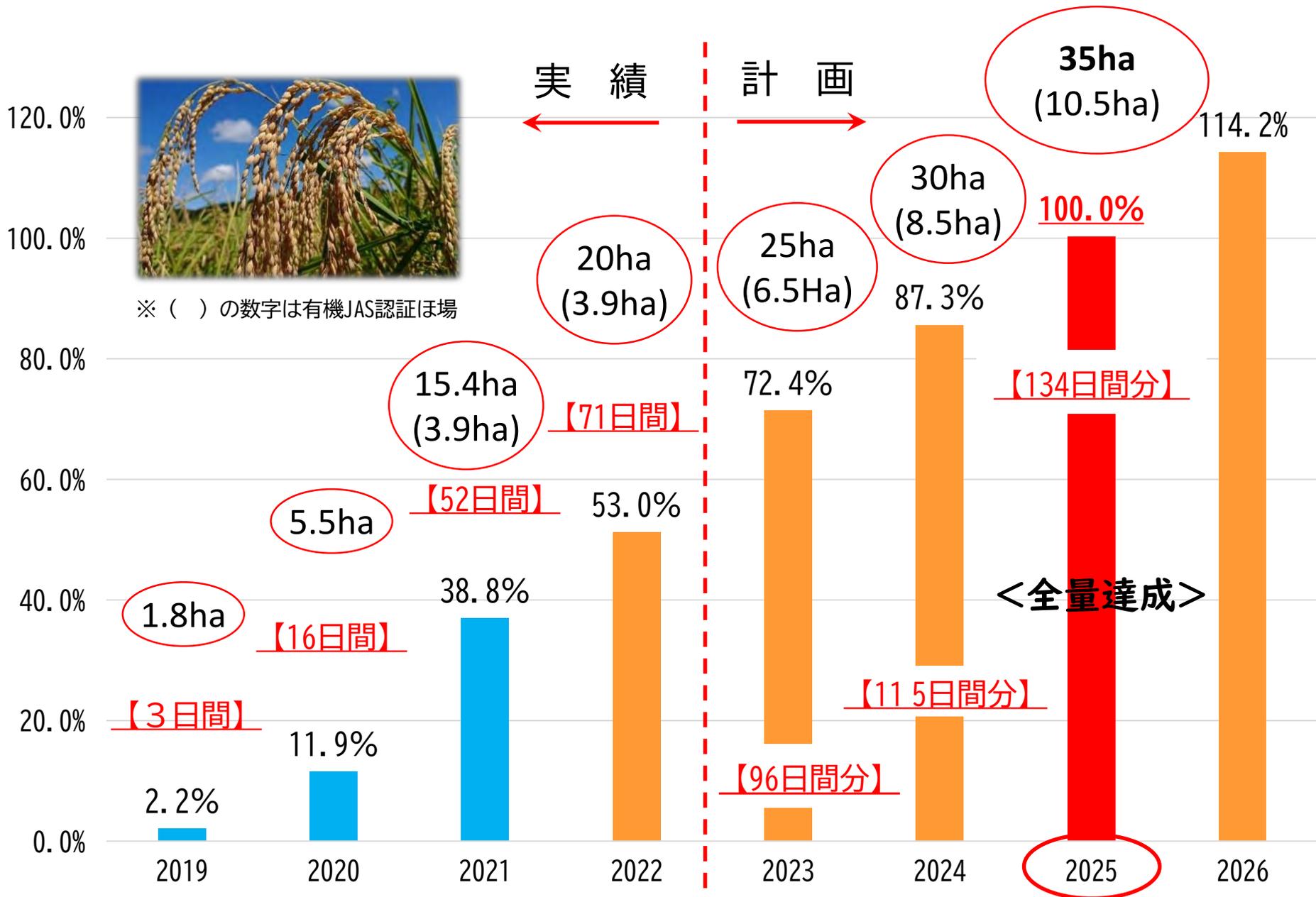
有機農業の産地化に向けて（有機コシヒカリ）

【生産・加工・流通・消費】

- 令和元年度からスタートした「学校給食提供に向けた有機米プロジェクト」は5名の生産者、1.8ヘクタールの栽培面積で取組開始。
- 令和4年度には、3.9ヘクタールの有機認証圃場と16.1ヘクタールの有機的管理圃場において、71トン进行収穫（学校給食71日間提供／達成率53%）。
- 全国には多くのブランド米が流通する中、学校給食に提供する農薬・化学肥料不使用の木更津産コシヒカリを「きさらづ学校給食米」として商標登録し、ブランド化を図る。
- 「きさらづ学校給食米」の生産拡大に向けて、省力化栽培技術の確立を図るとともに生産者、JA、民間企業・団体、関係行政機関等、幅広い協力体制を構築。



有機農業の産地化に向けて（有機コシヒカリ）



※木更津市では、週3.5回以上が米飯給食のため、年間最大191日間の給食のうち米飯給食は134日程度となる。

有機農業の産地化に向けて（有機露地野菜）

【生産・加工・流通・消費】

- 耕作放棄地を再生し、有機農業に取り組む株式会社耕す（木更津農場）は、本市における有機農業のトップランナーとして、13年前より生産を開始。
- 約8ヘクタールの有機認証圃場において、約10種類（にんじん、タマネギ、レタス等）の露地野菜を生産し、収穫量は年間約56トンにのぼる。
- 6次化産業化にも力を入れ、本市初となる「六次産業化・地産地消費」に基づく総合事業計画の認定を受けた「にんじんジュース」の利益率は、普通のにんじんジュースの2.2倍（1本あたり利益が21円⇒47円）。」。



*写真は耕す及びクルックーフIELDS HPより

有機農業の産地化に向けて（流通関連）

【生産・加工・**流通**・消費】

- 木更津市公設地方卸売市場は、木更津周辺3市の台所を預かる拠点市場として、地域住民に新鮮な食料品を適正価格で供給するとともに、生産出荷者の利益を守り市民生活の安定に寄与することを目的に、生鮮食料品の生産から消費に至る流通の要として基幹的な役割を担う市場が、有機JAS小分け事業認証を申請。
- 千葉県初の有機JAS認証レストランでは、地産地消に資する有機農業を推進し、本市農産物を用いた付加価値向上・ブランド化、レストランの経営安定化を図るため、木更津発のオーガニックブランドを創出。



有機農業の産地化に向けて(その他の有機商品)

【生産・加工・流通・消費】

- 農業を持続可能な産業として次代につないでいくため、成長分野として期待される有機農業を「オールきさらづ」で振興。
- 特に、市内では、オーガニック商品の製造・加工・販売に取り組む事業者も増加。
- 本エキスポにおいても、「木更津市オーガニックシティプロジェクト推進協議会」として出展し、下記商品のPR・試飲・販売を実施。(オーガニッククラフトビール、オーガニックワイン、有機燻製しょうゆ・有機燻製オリーブオイル等)





オーガニックビレッジ宣言



木更津市では、令和元年度から「学校給食提供に向けた有機米プロジェクト」を開始しました。

学校給食米100%オーガニック化を基軸とした有機農業を推進するため、「みどりの食料システム戦略推進交付金」を活用し、生産、加工・流通、消費の各段階における様々な取組を行っております。

今後、農業をはじめとした人との有機的なつながりや自然環境を大切に、持続可能なまちとして次世代に継承していきます。

木更津市は、有機農業を推進し、「オーガニックシティ」の確立を目指すことをここに宣言します。

令和5年3月23日

木更津市長

ご清聴ありがとうございました。